

報道関係各位

2024年5月20日

搬送作業の省力化・省人化を可能に 半自動ロボット低床式重量物搬送台車 「ストローダー[®]」を開発

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、株式会社大林組(本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO:蓮輪賢治、以下大林組)、株式会社坂井電機(本社:三重県亀山市、代表取締役:坂井康秀、以下坂井電機)の3社で、リモコン操作で重量物を搬送できる半自動ロボット低床式重量物搬送台車「ストローダー[®]」を開発しました。



現在、大量の資材や機材を運ぶ建設現場において、無人搬送車などを導入して搬送作業の省力化・省人化を進めることが求められています。しかし、状況が日々変化する建設現場で無人搬送車を導入することは難しく、普及が進んでいないのが現状です。

「ストローダー[®]」は大林組が開発し、アクティオと坂井電機が製品化した、リモコン操作で重量物を搬送できる半自動ロボットの搬送台車です。ゲームパッドを採用した無線コントローラーを使用するため、フォークリフト等の運転資格がなくても簡単に操作が行えます。また、メカナムホイールを搭載しており、全方位への走行が可能で、狭い通路やその場での旋回、斜面や段差も走行できます。さらに、ジャッキアップ機能を搭載したことで、荷物の真下に入り込んでの運搬が可能になりました。これにより、荷物の積み替えをする必要がなく作業員の負担軽減に貢献します。

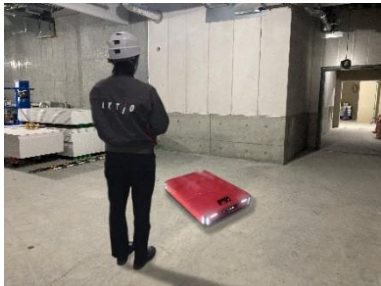
2025年初旬にレンタルを予定しており、建設現場・大型工場・物流倉庫等の分野で、省人化・省力化の課題解決へのソリューションを提供して参ります。

アクティオは今後も「レンサルティング」のノウハウを活かし、生産性を向上させるサービスや製品を提供していきます。

*ストローダーは株式会社大林組の登録商標です。

■「ストローダー®」特長

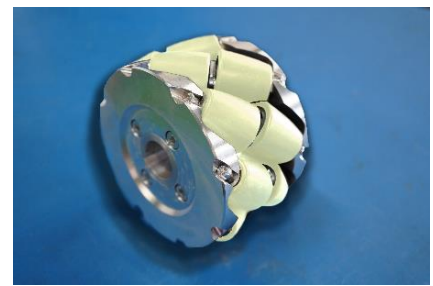
- ①ゲームパッドを採用したコントローラーで誰でも簡単に操作可能
- ②ジャッキアップ機能を搭載のため、荷物の真下に入り込んでの運搬が可能
- ③自在に走行できるメカナムホイール搭載



①リモコンで簡単操作
重量物を作業員1人で
ラクラク搬送



②荷物の下に潜り込み
ジャッキアップしそのまま台車ごと
搬送可能



③メカナムホールは狭い通路の
走行やその場での旋回も可能
前後左右斜め、斜面や段差も
自由自在に走行

■スペック

最大積載荷重	(kg)	1,000
ジャッキストローク	(mm)	100
最大速度	(m/min)	38
登坂角度	(度)	6(進行方向前進後進の場合)
走行可能段差	(mm)	20(進行方向前進後進の場合)
動作温度	(℃)	20±15
充電時間	(h)	約3
稼働時間	(h)	約4(連続稼働時)
充電方法		専用充電器使用 AC100V
寸法(L×W×H)	(mm)	756×1,126×156
質量	(kg)	330

こちらの商品は、2024年5月22日(水)から24日(金)まで幕張メッセで開催される「第6回 建設・測量生産性向上展 CSPI-EXPO2024」に参考出展いたします。

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。

アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ エンジニアリング事業部 建築部

TEL:03-6666-2548